



山本よしかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411



県土整備常任委員会に臨む山本義一県議

山本委員「首都圏空港道路ネットワーク検討分科 9月議会の我が党の代表 会にどうかがう。 質問に対して、「今後は、関係者へのヒアリング等により利用者の視点を踏まえた課題を把握する」とのことだが、成田空港機能強化による効果も、県内はもとより首都圏全体に波及させるためには、空港周辺の一般道路の整備を強力に進めてい

12月県議会県土整備常任委員会

千葉県発展へ全力を挙げている山本義一県議(八街市選出)は、12月定例県議会の県土整備常任委員会に臨み、高規格道路ネットワーク構想などについて県の考えを聞きました。成田空港の機能強化に伴う道路交通需要の増大に対応するため、高規格道路ネットワークの検討が開始されましたが、山本県議は道路利用者などの実感を踏まえた、高規格道路ネットワークの充実・強化が必要として、道路利用者の意見把握について質問しました。併せて9月県議会県土整備常任委員会での山本県議の質疑と県担当者の答弁も紹介します。

高規格道路ネットワーク構想 利用者の意見把握大切 空港周辺の道路整備も必要

くとともに、道路利用者などの実感を踏まえた、高規格道路ネットワークの充実・

9月県議会県土整備常任委員会

図る広域道路ネットワークの基本方針の立案に向け、取り組んでまいります。

強化を図っていくことが必要であると考

今後、分科会では、道路利用者などの意見をどのように把握していくのか。

道路計画課長 今後は、経済界、空港関係者を含めた道路利用者の方々に対し、直接ヒアリングを行うなど、率直なご意見をうかがい、羽田空港との連携強化を

都心と成田空港連絡道路、東関道だけ 災害発生での寸断不安

山本委員 首都圏空港道路ネットワーク検討分科会を開催し、県内の高規格道路ネットワークのあり方の検討に着手したことについて、今後の千葉県の道路整備の進展につながるかと、大変期待している。

第1回分科会では、機能強化に対応した高規格道路ネットワークの整備の必要性を確認したとのことだが、成田空港の機能強化に対応するためには、どのような課題があるのか。

道路計画課長 9月3日に開催した分科会では、高規格道路ネットワークの課題として、羽田空港は都心と首都高が有機的に結びついていることに対し、都心と成田空港を最短で結ぶ経路は、宮野木ジャンクションを

災害時の緊急車用道路確保

山本委員 緊急車両等の通行のため、早急に最低限の瓦礫処理を行い、簡易な段差修正等により救援ルートを開ける道路啓開計画が公表された。本年1月に発生した能登半島地震の被害状況を踏まえた計画になっているとのこと、同じ半島性を有する千葉県としても重要な計画だと思ってい

道路環境課長 今回の計画は、災害時における道路啓開の役割分担、対応手順を事前に定め、緊急輸送の経路を早期に確保するための計画です。

計画策定にあたり、国や高速道路会社等の道路管理者の他、電力、通信、水道などのライフライン事業者、また、実際に啓開作業をしていただく建設業協会などの関係機関と会議を重ねて計画を固めてまいりました。

今後は、これらの関係機関と定期的な会議を開催する他、計画に基づいた訓練を実施するなどし、災害への対応力の強化を図ってまいります。

經由する東関道のみであり、経路選択が少ないことや、災害時など、寸断した場合、大きく迂回する必要があることなどが示されました。

今後は、関係者へのヒアリングを行うなど、利用者の視点を踏まえた課題を把握した上で、道路整備の方向性を検討し、広域道路ネットワークのあり方、基本方針を策定してまいります。

山本委員 成田空港周辺における道路整備計画では、八街市に

においても、富里市や酒々井町とともに県に

●千葉県や八街市のご意見、ご要望をお聞かせください

山本よしかず 県議事務所

〒289-1116 八街市中央20-11
TEL.043(440)7070
FAX.043(440)7030



県議会からの表彰状を手にする山本県議

県会議員在職14年表彰

11月15日の12月定例県議会初日、開会に先がけて、千葉県会議員在職14年の表彰を受けました

思えば平成22年の補欠選挙で当選して以来、その後に続く4回の選挙で当選させていただき、県会議員として働かせていただきました。これも、皆様のご支援の賜物と心から感謝いたします。これからは千葉県の発展に一層、尽くす所存です。

山本 義一

東京湾アクアライン 時間帯別料金差、さらに拡大

東京アクアラインの渋滞解消のため、土・日曜、祝日に時間帯によって通行料を変動させるETC時間帯別料金の社会実験が行われていますが、4月からさらに格差を設けた新料金体系が採用されることになりました。

車種によって料金が変わりますが、ETC普通車を例にとると、上り線が4時から13時、19時から20時まで800円ですが、通行車が集中する13時から19時まで1600円になり、逆に道路が空いてくる20時から4時までは400円になります。

これまで均一料金だった下りにも時間帯によっての料金差を設けることにし、7時から24時までと4時から5時まで800円、5時から7時まで1000円、0時から4時まででは400円にします。



<https://www.pref.chiba.lg.jp/dejisen/dxportal/index.html>



県と県内すべての市町村のオンライン申請の窓口などを集約したポータルサイト「ちばDXポータル」が12月3日から公開されました。県民や事業者へオンライン申請の窓口を知らせるもので、併せて、県のDX関連の取り組みを紹介する動画も公開されました。

「ちばDXポータル」では、各市町村のオンライン手続きのページにアクセスできるほか、デジタル技術の導入に関する助成金やイベント・研修などの情報も掲載、LINEやZOOMなどで、気軽に相談できるサービスがまとめられています。

「ちばDXポータル」 市町村オンライン申請 窓口を一括して紹介

質問 能登半島地震を踏まえた孤立集落対策の取組状況はどうか。

副知事 大規模地震や大雨被害による集落の孤立対策としては、備蓄の強化や避難施設の整備など、外部からの救援の途絶に備えた集落内での対応力の強化が重要です。

このため、県が新たに創設した市町村の孤立集落対策を支援する補助制度により、現在、13団体の219集落において、水・食料の備蓄や防災倉庫、発電機、物資輸送用ドローンの整備などが進められており、市町村における孤立集落対策の充実が図られています。

このため県では、水稲や野菜・果樹等について、気象情報等に基づき高温に対する技術対策をとりまとめ、

また、高温環境にも順応できる水稲や梨の品種育成を進めるとともに、その年の気象条件に対応した病害虫防除などの適切な作業時期の目安がわかるアプリを開発するなど、高温対策を強化し、農作物の安定生産に向けて取り組んでいます。

12月定例県議会代表質問



質問 地球温暖化による農作物への影響が懸念されている中、安定生産に向けてどのように取り組んでいるのか。

副知事 地球温暖化に伴い、夏の高温による米の品質低下やトマトの着果不良などに伴う収量減少に加えて、暖冬により病害虫の発生時期が早まり農作物への被害が大きくなるなど、年間を通して農業への影響が確認されています。

生産者に周知するとともに、施設栽培のトマトでは、高温と病害虫防除の対策を両立できるよう、自動かん水装置や通気性の良い防虫ネットなどを活用した栽培管理の普及に取り組んでいます。

農作物の高温対策 水稲や梨の新品種育成

219集落孤立化に備え 水・食料備蓄ドローンも

ます。

引き続き、市町村に補助制度の活用を促すとともに、通信の早期復旧や空路・海路を活用した物資輸送につ

要望 孤立集落対策への補助制度のより一層の活用を進めることを含め、市町村や地域に寄り添った災害の予防や対応力の強化に速やかに取り組むよう要望する。

トマト黄化葉巻病蔓延

八街市などの県内トマト栽培地で昨秋、トマト黄化葉巻病が多発し、調査した県内10地点での発病率が過去10年間で最も高くなりました。

県農林総合研究センターの巡回調査によると、平均発病率は平年が3・24%であるのに対して、41・

67%の比率になり、トマト黄化葉巻病を媒介するタバコナジラミの成虫が寄生していた株も48・44%に達しました。トマト黄化葉巻病はタバコナジラミが媒介するウイルスによって発生する病

気で、発病すると葉が縮み、開花してもほとんど結実しくなります。同センターでは、今年のトマト栽培にも影響を及ぼす恐れがあるとして、農家に注意を呼び掛けている。